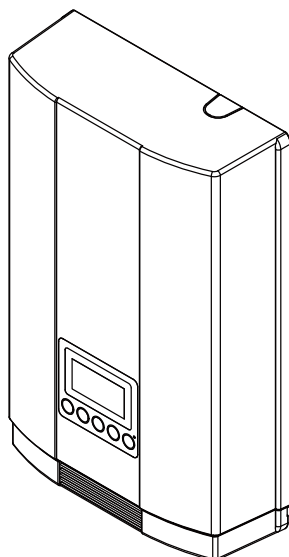


工事要領、取扱説明書

製品名： 電気瞬間湯沸器

型 式： EIWXG300A1



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領、取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
EIWXについて	5
各部名称	5
仕 様	7
工事要領	8
施工前にご確認ください	9
1. 部品の確認	9
2. 設置場所の確認	10
3. 推奨メンテナンススペースについて	10
4. 施工前の準備	10
施工する	11
1. 設置工事	11
2. 電気工事	14
3. 配管工事	17
4. 試運転	18
5. 施工後の確認	21
取扱説明	22
使用方法	23
1. 使用前の準備と確認	23
2. 出湯する	23
3. 各種設定方法	25
お手入れの方法	32
保守点検項目と実施の目安	32
長期間使用しないときは	32
外装の清掃	32
こんなときは	33
故障かな？と思ったら	33
停電後の対応について	34
エラーコードについて	35
その他の表示について	36
アフターサービス	37
消耗品について	37
補修用性能部品について	37
修理をご依頼の際には	37

共通項目

安全上のご注意

本書には、お客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みにになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方へお渡しください。

この製品は以下のような方がお独りでご利用になることを意図しておりません。この製品の安全なご利用方法を理解された保護者、または介護者の補助のもとご利用ください。

・子供 ・当製品の使用において補助が必要な方 ※子供がこの製品で遊ぶことがないようにご注意ください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

 **警告** この表示の欄は、『死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容です。

 **注意** この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



○の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
○の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は『分解禁止』)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項：必ずお守りください

 警告	
	アース(C種接地)工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の環境でお使いください。 故障、火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	機器本体は必ず給湯、給水接続口を下向きとし、壁面に垂直に設置してください。 漏水、故障、発火、漏電の原因となります。
	本製品は1300Ω・cm以上の抵抗率(比抵抗)を有する水道水でご使用ください。 感電のおそれがあります。
	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	粉じんの多い場所に設置しないでください。 火災、感電、故障の原因となります。
	設置時以外は正面ケースを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。
	水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント(電源プラグ付機種の場合)を設けないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。

⚠ 警告	
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓金具に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。

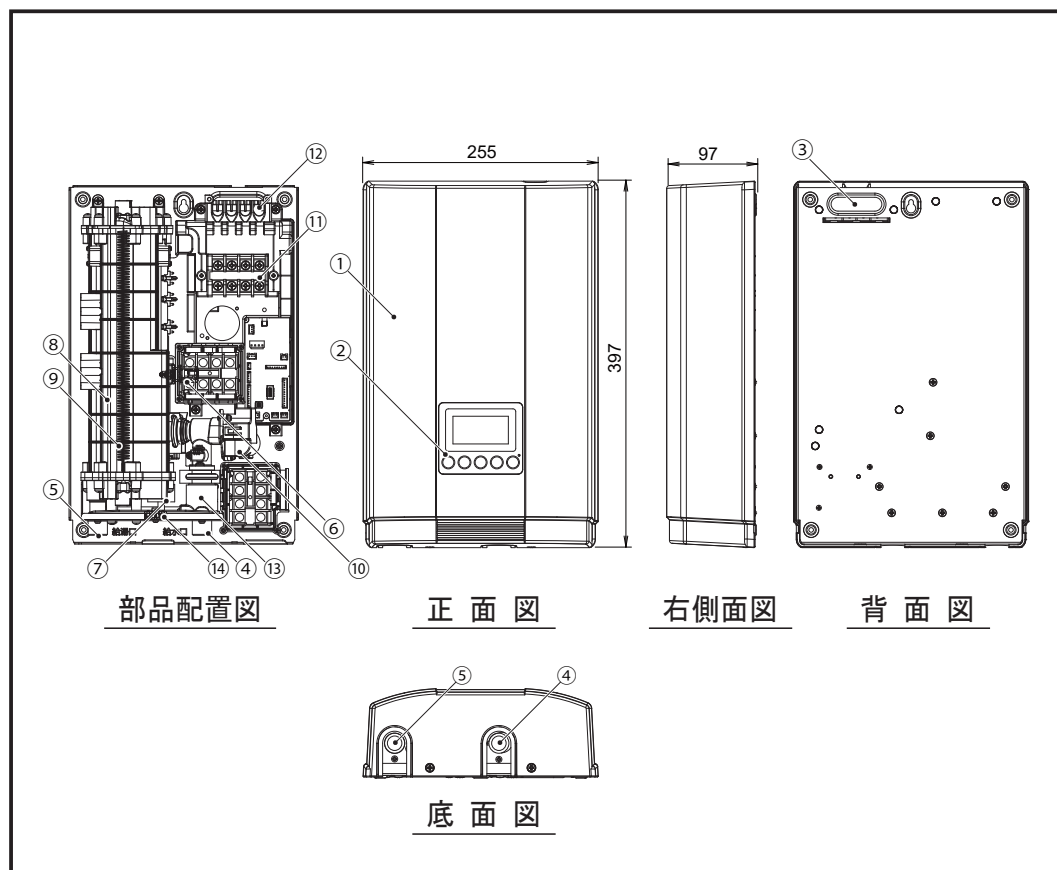
⚠ 注意	
	機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
	機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。
	水道水(上水)以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、漏電の原因となります。
	本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所には設置できません。 凍結により破損、漏水の原因となります。
	機器内部にエアが入るような配管接続をしないでください。 故障の原因となります。
	給水接続配管は工具なしで着脱できる配管(ホースなど)で接続しないでください。 漏水、故障の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。 漏水の原因となります。
	配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。 漏水の原因となります。
	機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ(切削粉、砂、シールテープ等)を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。 故障や漏水の原因となります。
	火災予防条例に則した離隔距離を取って設置してください。 壁面損傷のおそれがあります。
	床面に防水、排水処理を施してください。 漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
	規定の給水圧力(静止圧)にてご使用ください。給水圧力が0.75MPaを超える場合には減圧弁を設け、調整してください。 誤動作や故障の原因となります。
	満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。 落下・故障の原因となります。
	給水温度は必ず45℃以下でご使用ください。 誤動作や故障の原因となります。
	飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害する恐れがあります。
	他所との同時使用により水圧変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。 やけどの恐れがありますので、水圧変動を抑えた配管設備にしてください。(分岐場所を遠くにするなど)
	満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。

EIWXについて

EIWXは壁掛型電気瞬間湯沸器です。流量と水温を検知し、昇温に必要なヒーターへの電力供給を制御して、設定した温度で出湯するように水を加熱します。

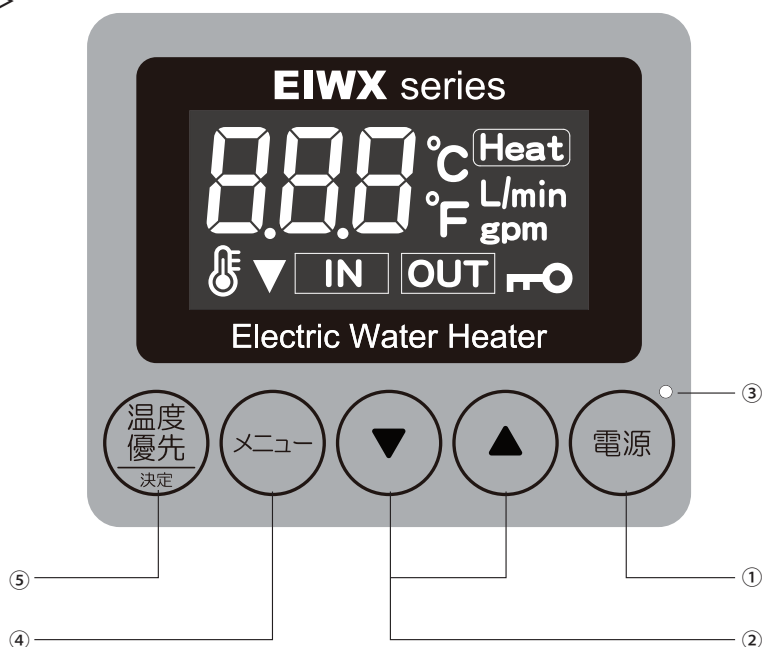
(ただし、電圧降下などによる電圧変動、ヒーターの発熱量の差、使用流量、給水温度などにより設定温度を下回る場合があります)

各部名称



- | | | | |
|---------------|-------------|------------------|-----------------------|
| ①正面ケース | ②操作部 | ③電源引込口 | ④給水接続口 (G1/2) (逆止弁内蔵) |
| ⑤給湯接続口 (G1/2) | ⑥安全弁 (1MPa) | ⑦圧力スイッチ (1.5MPa) | ⑧加熱部 (水管) |
| ⑨ヒーター | ⑩水量サーボ | ⑪端子台 (M5) | ⑫グロメット |
| ⑬減圧弁 (0.3MPa) | ⑭漏水センサー | | |

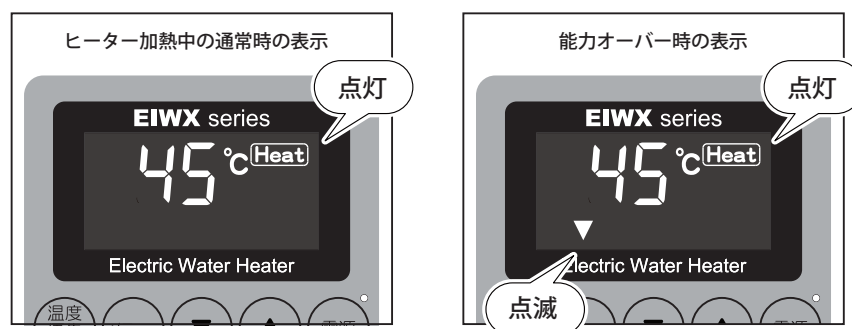
<操作部>



①電源スイッチ	機器のON / OFFを切り替えるときに使用します。
②アップ／ダウンキー	設定値を上下させるときに使用します。
③電源ランプ(白)	機器の運転中に点灯します。
④メニューキー	設定モードを切り替えるときに使用します。
⑤温度優先切替 / 決定キー	温度優先モード ON/OFFの切替や、パラメータの決定時に使用します。

液晶部の「Heat」および「▼」表示について

ヒーター加熱中は「Heat」が点灯表示します。流量が加熱能力を上回った場合（能力オーバー時）には、設定温度表示の左下に▼が点滅表示します。設定した温度で給湯したい場合には▼が消えるまで流量を絞るか、温度優先モードをONにしてください。



共通項目

EIWXについて

仕 様

型 番	EIWXG300A1
標 準 電 源	三相400V
定格消費電力 (kW)	30.0
定 格 電 流 (A)	43.3
発生熱量 (MJ/h)	108.0
号 数 換 算 (※1)	17.2
設定温度範囲 (°C)	30~60 (※2)
工場出荷時設定 (°C)	45
使用流量範囲 (L/min)	約2.0~15.0 (※3)
満 水 質 量 (kg)	約8.0
給 水 方 式	先止め式
使用圧力(静止時) (MPa)	0.1~0.75
一次側使用水温 (°C)	45以下(凍結しないこと)
設置環境温度 (°C)	0~40(凍結しないこと)
機 能	出湯温度優先モード、連続出湯制限機能 (※2) (※4)
本 体 寸 法	幅255×高さ397×奥行97mm
設 置 場 所	屋内
安 全 装 置	過昇圧防止スイッチ (※5)、異常時主回路遮断、温度センサー異常検出、給水温度異常検出、ヒーター断線検出、制御リレー異常検出、漏水検出(給水遮断機能付)

(※1) … 号数とは、水温から25°C上昇させた時の毎分の出湯量を表します。

(※2) … 連続出湯制限機能で0分に設定した場合は設定温度範囲の上限は45°Cに変更されます。

(※3) … 使用流量範囲の最低流量以下では動作しません。

(※4) … 詳細はP.24ワンポイントおよびP.28参照。

(※5) … 1.5MPaで作動し、ヒーターへの通電をストップします。

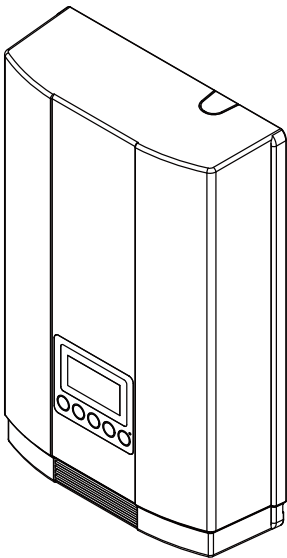
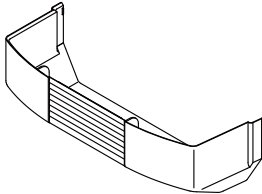
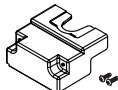
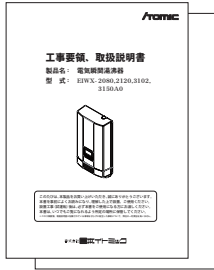
工事要領

正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

本体	付属品
	 配管カバー×1
	 グロメットカバー×1、 固定ネジ(呼び4)×2 (製品内部にテープで 固定されています。)
	 工事要領、取扱説明書×1、保証書×1 ※工事終了後、ご使用になる方へお渡しください。

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品 (→ P.17『標準配管図』参照)

- ① 水栓 …………… 混合水栓、単水栓、自動水栓
- ② ステンレスフレキ管 …… 給水および給湯配管接続に必要です。
- ③ パッキン、シールテープ …… 配管接続部分から漏水させないために必要です。パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。
- ④ 止水栓 …………… 流量の調節やメンテナンス等の際に給水を止めるため必要です。
- ⑤ 漏電ブレーカ …………… 万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
- ⑥ ストレーナー …………… 湯沸器内へのゴミの流入を防止します。
- ⑦ 固定用ボルト類 …………… 現場に合った固定用のボルト等をご用意ください。

上記手配品は必ずご用意ください。

関連商品

- ⑧ 離隔取付金具 …………… 離隔距離を取る必要がある場合にご用意ください。
- ⑨ シャワーヘッド …………… サイエンス社製『ミラブル plus』
- ⑩ 盗難防止用アダプタ …… シャワーヘッド盗難防止に使用します。シャワーヘッドとのセット販売となります。

上記手配品は設置状況に応じてご用意ください。

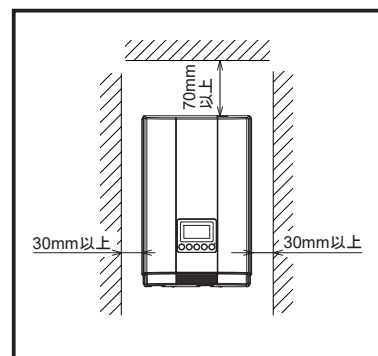
2. 設置場所の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結する場所ではご使用になれません。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？（下記参照） メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	☐
配管距離	給湯配管距離が長すぎませんか？（推奨2m 以内） 給湯場所が機器より離れすぎている場合は、お湯の待ち時間が長くなります。また、放熱ロスを防ぐためにも2m以内を推奨します。	☐
取付壁面	本体を取り付ける場所は垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1MPa～0.75MPaの間になっていますか？ 湯沸器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。給水圧力が0.75MPaを越える場合は、減圧弁を必ず取り付けてください。	☐
電圧	定格電圧の±10%以内ですか？ 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の±10% 以内の電圧であることを確認してください。	☐

3. 推奨メンテナンススペースについて

機器のメンテナンスをする際に必要なスペースは右記の通りです。機器前方はボタン操作を行う必要があることと、正面ケースを外せるようにするため開放状態としてください。



4. 施工前の準備

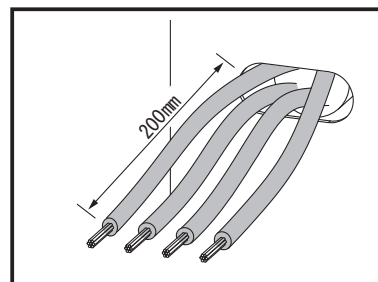
電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、C種接地工事を行ってください。



機器を永続的に接続する必要があります。壁などに固定した配線遮断機能を有するブレーカもしくは端子台 BOXに接続してください。

【背面引き込みの場合】

電線とアース線を右図を参考に壁から引き出してください。



施工する

1. 設置工事

※必ず給湯、給水接続口を下向きにして、壁面に垂直に設置してください。

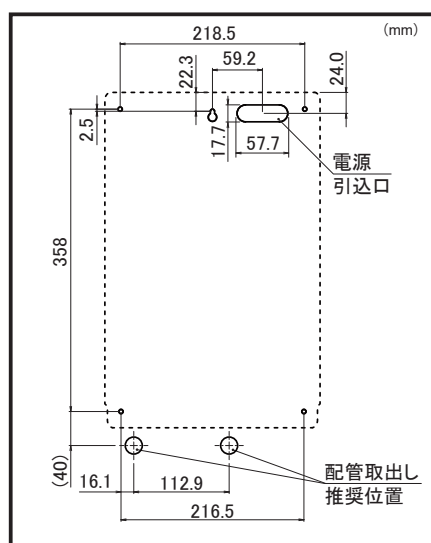
※各市町村の火災予防条例に則した離隔距離を取って設置してください。離隔距離、隠蔽設置等については所轄の消防署にお問い合わせください。

※本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所には設置できません。

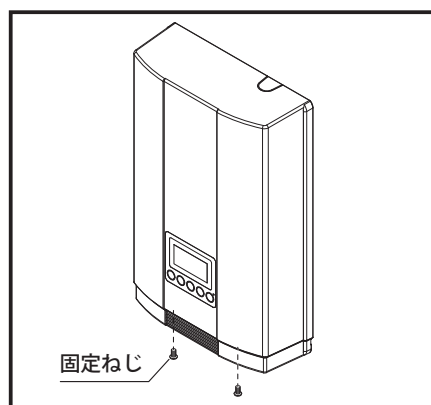
- ①右図の寸法に従って壁面にアンカーボルト用の下穴、および配管取り出し用の穴を開けてください。

◆推奨アンカーボルト

アンカーボルト種類	カールボルトプラグ
アンカーボルト径	M4
アンカーボルト長さ	25mm

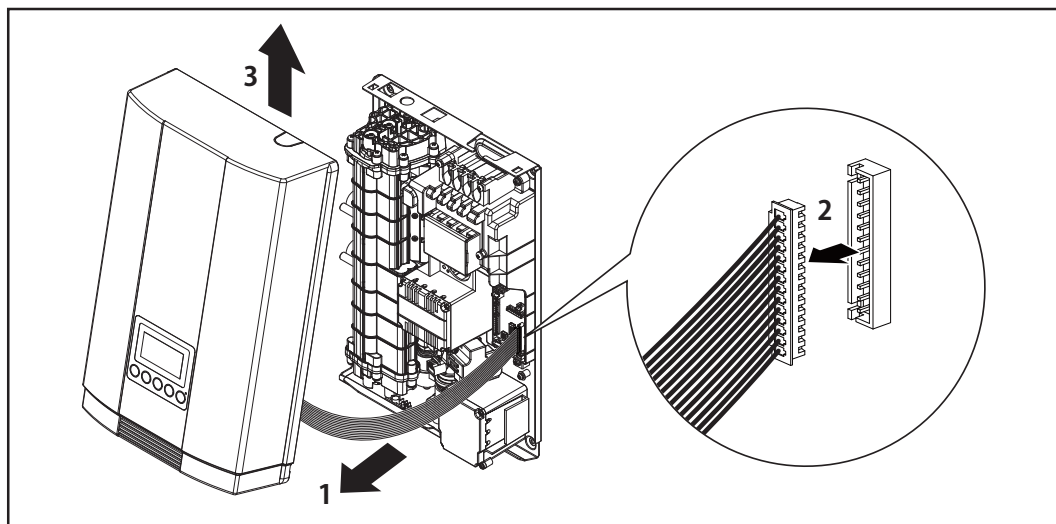


- ②固定ねじを外します(2本)



- ③正面ケースを1→3の順番で外します。取り外す際、本体基板と表示基板を接続しているハーネスの本体基板側を注意して取り外してください。

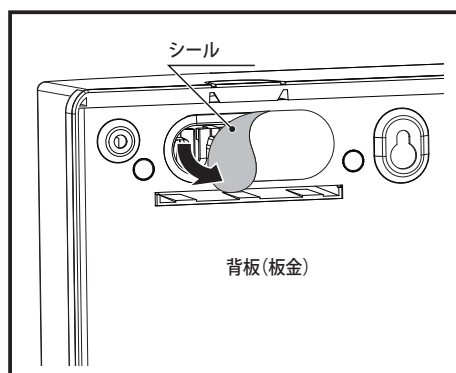
※正面ケースと本体はハーネスで接続されています。正面ケースを勢い良く外さないように注意してください。



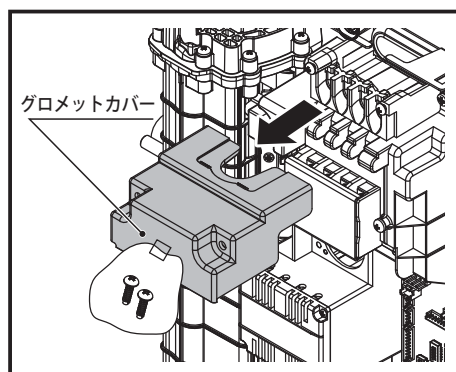
【電源ケーブル背面引き込みの場合】

電源ケーブルを背面から製品本体に引き込みたい場合は、P.13④の前にあらかじめ以下の施工を行ってください。

- ①電源引き込み口のシールをはがします。



- ②テープで固定されたグロメットカバーを取り外します。

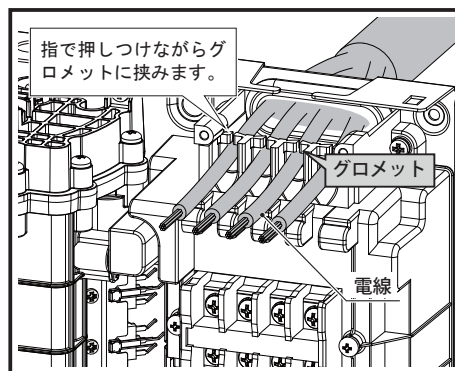


工事要領

施工する

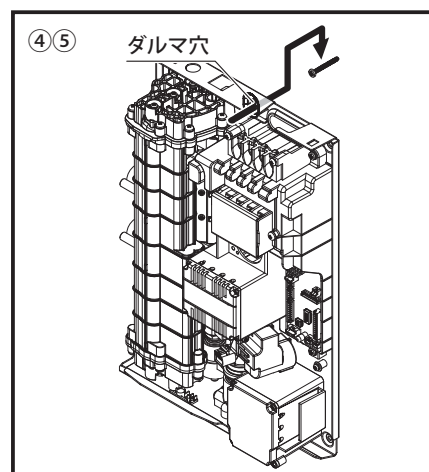
③電源引込口から電線を引き込みます。

④電線を指で押しつけながらグロメットに挟みます。

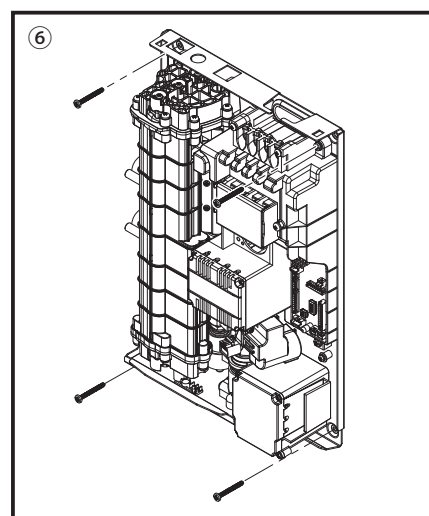


④機器を取り付ける壁面にダルマ穴用のアンカーボルトを最初に取り付けます。

⑤機器上部ダルマ穴を利用し、水平になるよう仮固定します。



⑥残り4点で本固定します。



2. 電気工事

配線する

推奨ケーブル：VCTケーブル

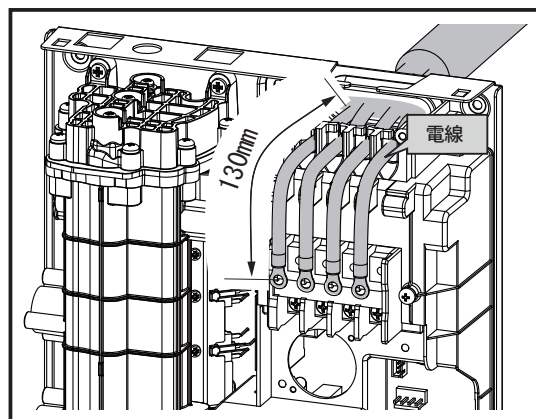
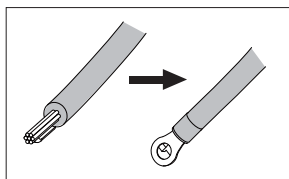
◆引込電線表(参考)

機 種	引込電線断面積
EIWXG300A1	14mm ²

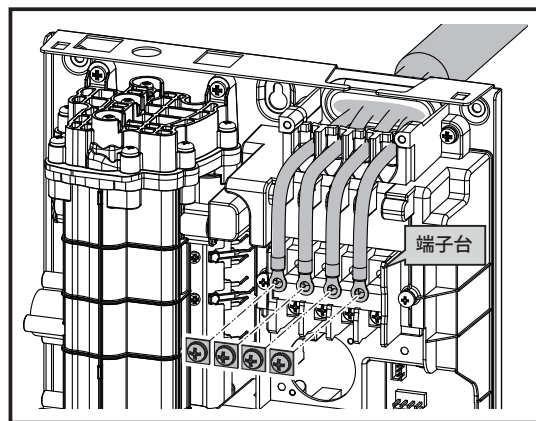
(内線規定：1340-6表『周囲温度30℃以下』による)

背面引き込みの場合

- ①引き込んだ電線の先端に丸端子を取り付けます。
- ②丸端子の穴中心から電源引込口までの長さを130mmに調整します。



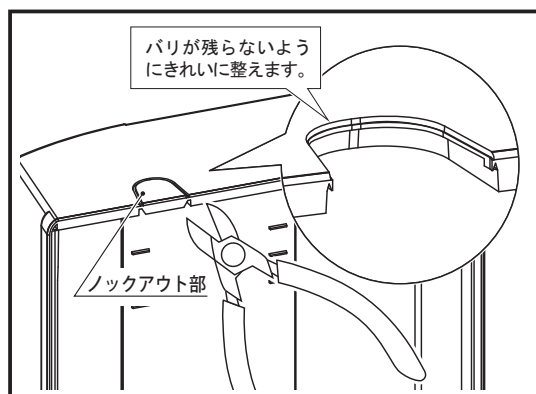
- ③丸端子をそれぞれ端子台に接続します。



上部引き込みの場合

- ①ノックアウト部をニッパーなどで切り取ります。

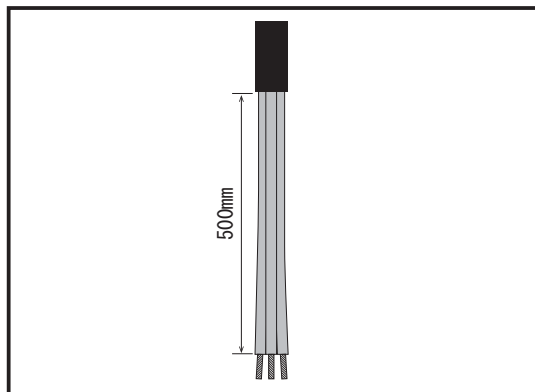
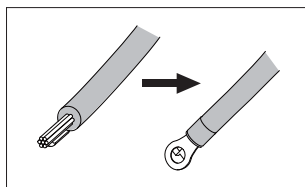
バリなどのエッジが残った場合はカッターなどで削り、電源ケーブルが傷つかないように確実に処理してください。



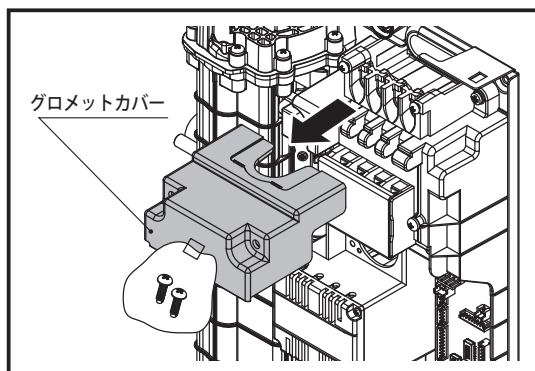
工事要領

施工する

- ②引き込む電線の長さを500mmに調整します。先端は丸端子処理を行います。

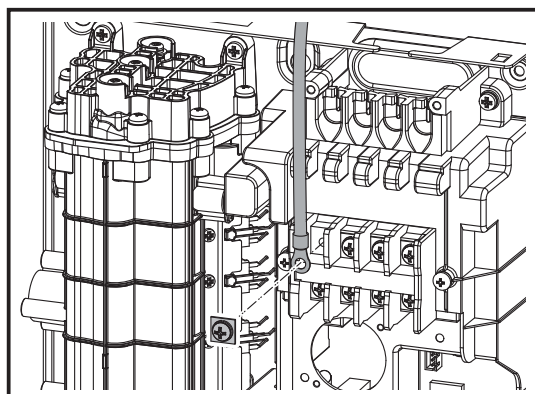


- ③テープで固定されたグロメットカバーを取り外します。

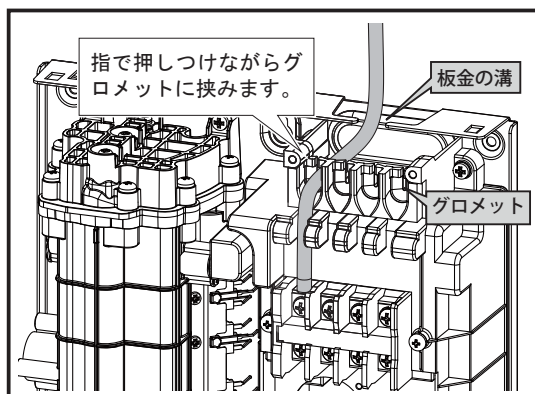


- ④電線を端子台に接続します。

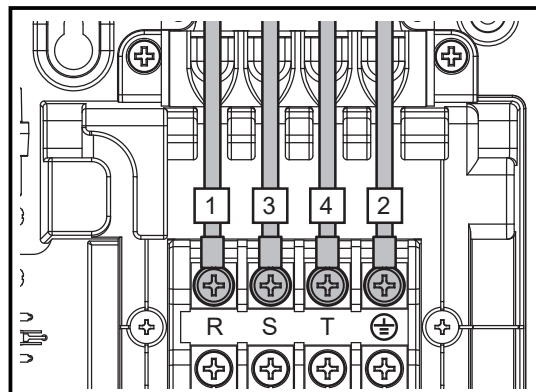
※端子台に接続する順番は⑥を参照してください。



- ⑤電線を指で押しつけながらグロメットに挟み、板金の溝に通します。

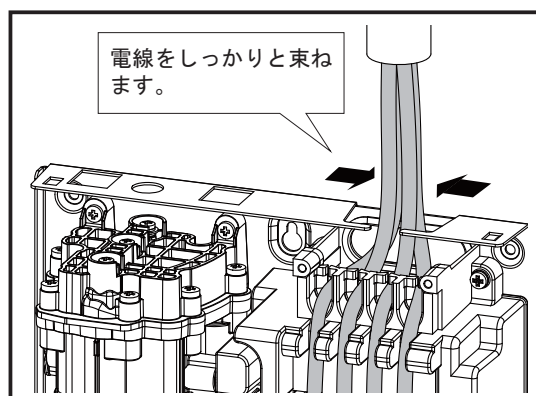
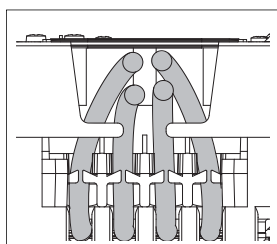


- ⑥電線を端子台に接続する順番は右図の①～④としてください。



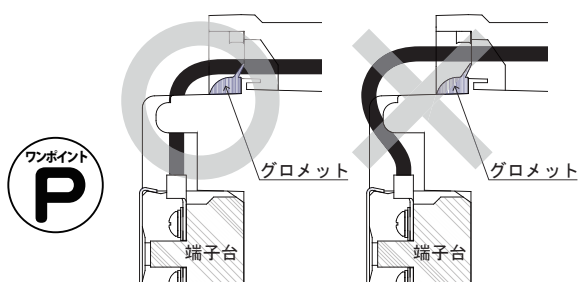
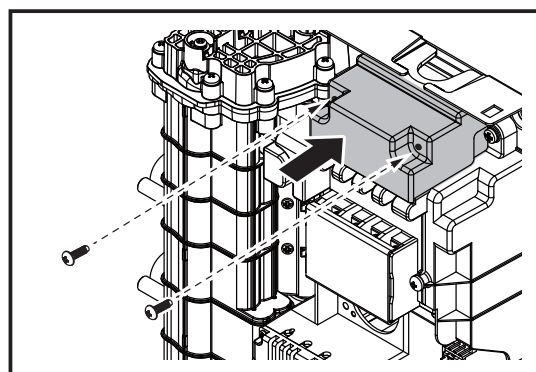
- ⑦電線はしっかりと束ねておきます。

※束ねることによって正面ケースの上部電線引込口にきれいに納めることができます。

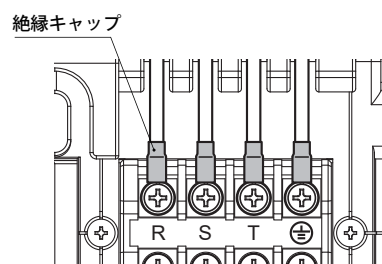


背面引き込み・上部引き込み共通

- ①電線を端子台に接続したら、付属品のグロメットカバーを取り付けます。爪がパチンとはまるところまでグロメットカバーを押し込み付属のねじで固定します。



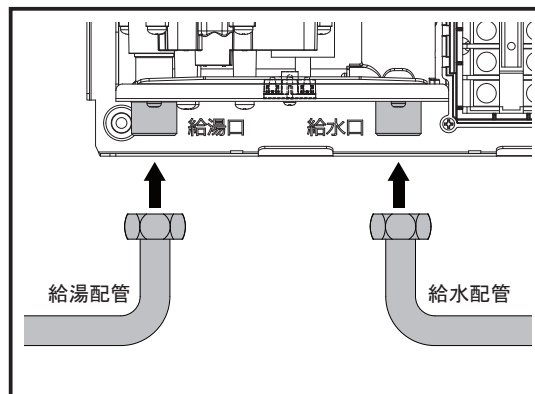
- 端子台に接続した後の電線は膨らみがないようにしてください。



- 端子間は必ず絶縁キャップなどで絶縁を図ってください。

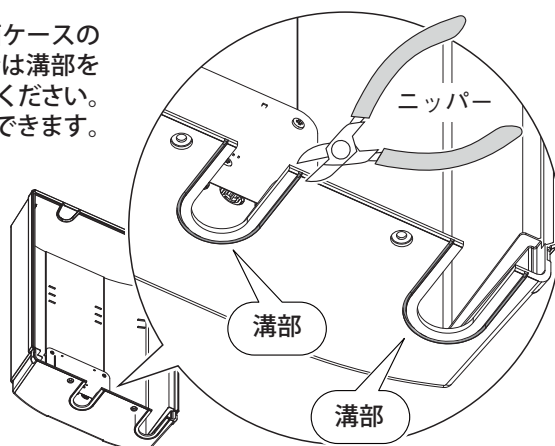
3. 配管工事

- ①一次側給水配管にお客様手配品のストレーナ、止水栓を取り付けてください。（※給水圧力が0.75MPaを越える場合は、減圧弁を必ず取り付けてください。）
- ②給水配管・給湯配管を本体に接続してください。

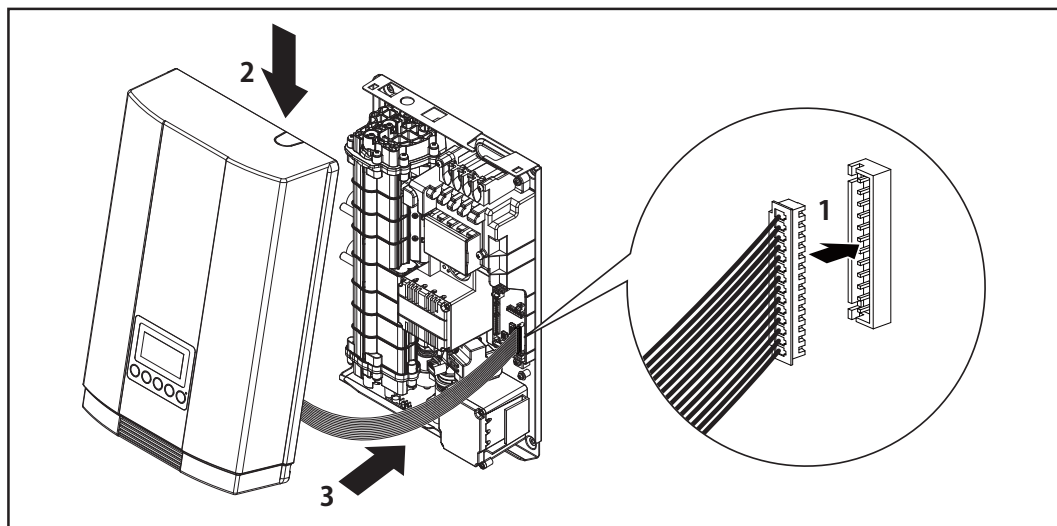


接続する配管が太く、正面ケースのU字穴部分に合わない場合は溝部をニッパーなどで切り離してください。U字穴を大きくすることができます。

正面ケース

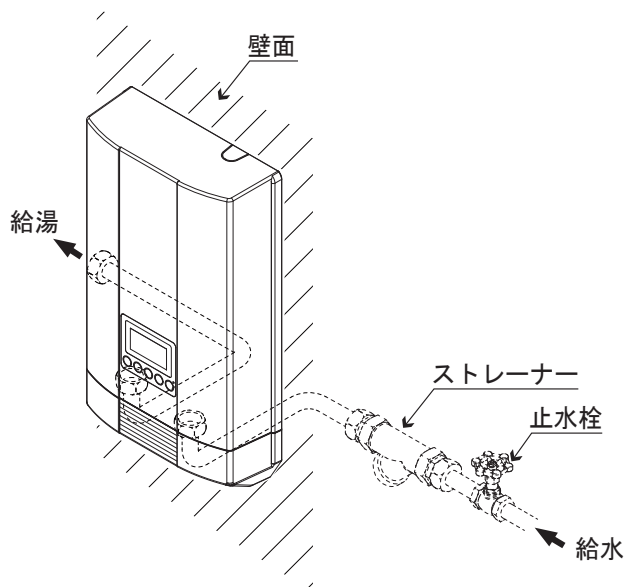


- ③正面ケースを1～3の順番で取り付けます。取り付ける際、本体基板と表示基板を接続しているハーネスの本体基板側を注意して取り付けてください。

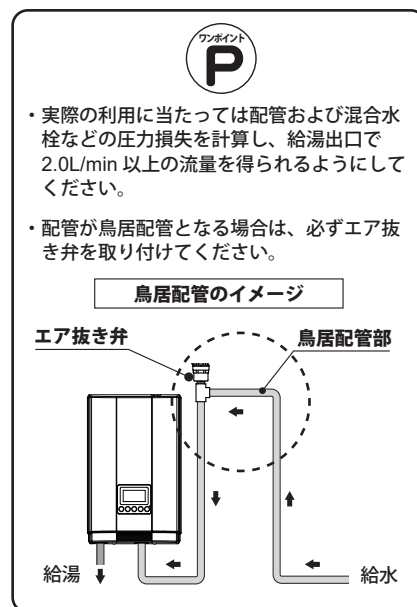


- ④配管カバーを取り付けてください。(取付方法は別紙を参照ください)

標準配管図

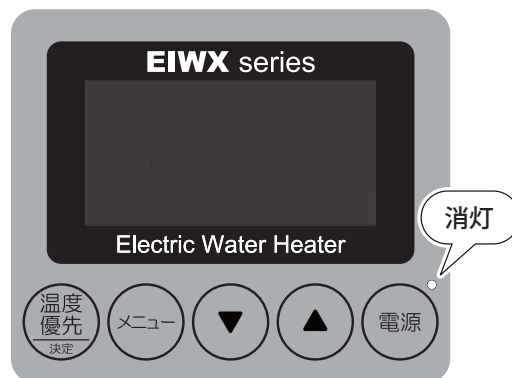


※破線部配管は壁面内側を表す



4. 試運転

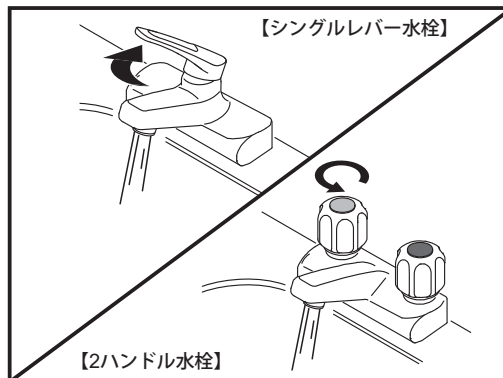
- ①液晶画面および電源ランプ(白色)が消灯していることを確認してください。
- ②止水栓を開いてください。



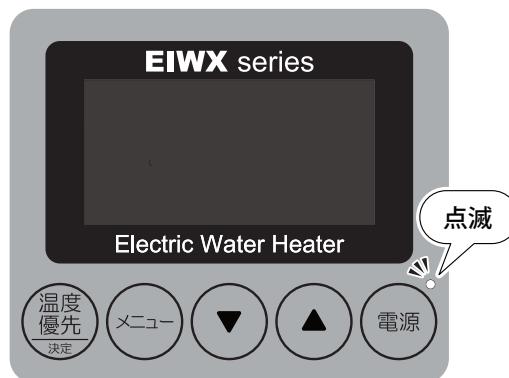
工事要領

施工する

- ③ 止水栓を全開にしてから水栓の湯側を徐々に開いてください。
- ④ 水栓を10回程度開閉させて配管内部、機器内部の空気を完全に抜いてください。(湯沸器および配管内が満水になるまでは空気を含んだ水が出ます。)
- ⑤ そのまましばらく水を出し続け、配管内の不純物などを流し切ってください。
- ⑥ 水栓を閉じ、各配管接続部分から漏水がないかチェックしてください。



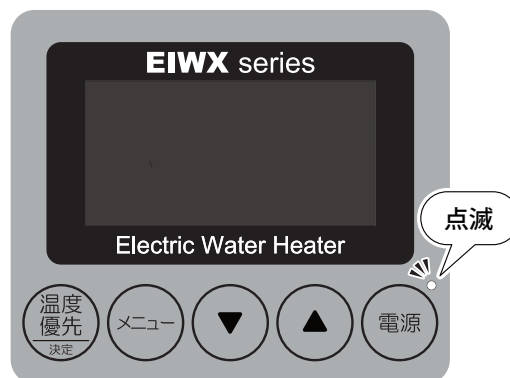
- ⑦ 一次側の漏電ブレーカをONにしてください。(白色のランプのみ点滅します。)



運転状態別の表示

○運転 OFF 状態

- ①電源投入後は白色のランプが点滅します。
液晶画面は全消灯となっています。



○運転 ON 状態

- ②電源スイッチを3秒間長押しして運転 ONにします。白色のランプが点滅から点灯に変わり、液晶画面は2秒間機種表示を行います。(kW表示を行います。)

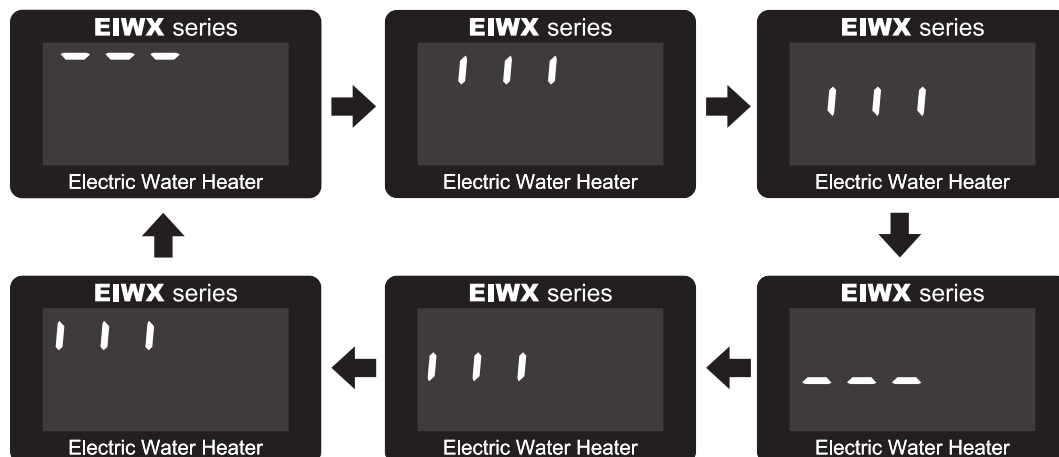
機種名(型番名)	液晶表示(kW)
EIWXG300A1	30.0



○初期設定状態

- ③続いて表示が以下ようになります。表示が終わるまでお待ちください(約15秒)。

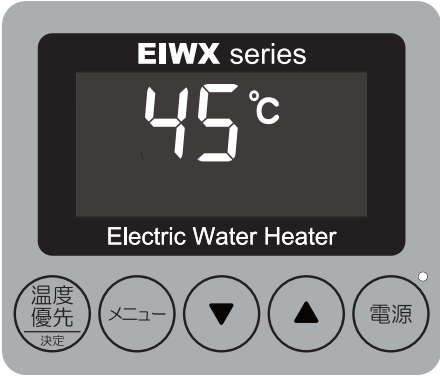
※サーボイニシャライズ中の表示です。サーボイニシャライズとは、流量バルブ開度の位置決めをするための初期動作です。



④サーボイニシャライズが完了すると、設定温度表示画面になります。この表示が通常表示されるメイン画面です。

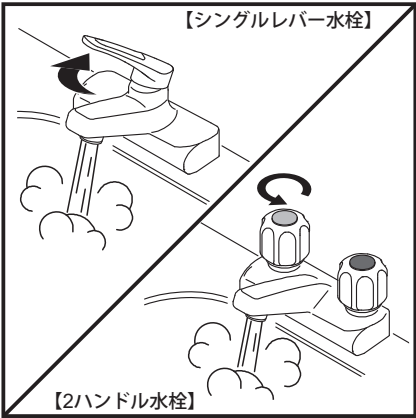
※無操作の状態、給湯動作がない状態が約10分間継続されると液晶画面は全消灯します。操作したり、給湯すると点灯に戻ります。

※再度電源 SWを長押しすると運転 OFF 状態へ切り替わります。



⑤水栓の湯側を開き、毎分2.0L以上の流量で連続30秒以上流し続けてください。液晶画面に「Heat」が点灯し、水温が上昇するのを確認できれば正常です。(P.24ワンポイントをご参照ください)

水栓を開いても流量が少ない場合（毎分2.0L未満）では通電しないため、水温が上昇しません。必ず仕様表（P.7）に記載されている使用流量範囲内でご使用ください。



5. 施工後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置工事	湯沸器にがたつきはありませんか？	☐
配管工事	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
電気工事	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
	C種設置工事は正しく行われていますか？	☐

以上で施工終了です。

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1. 使用前の準備と確認

チェックリスト

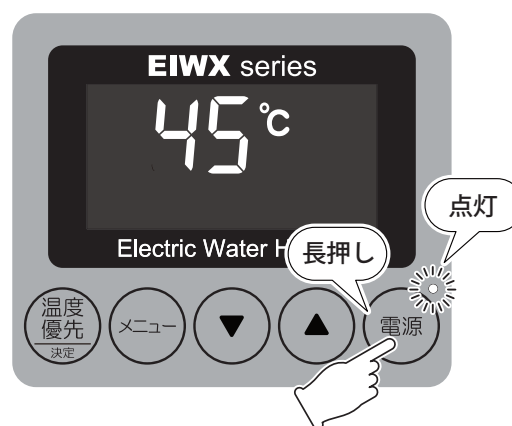
項 目	チェック内容	チェック
	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	本体の上には物などを載せていませんか？	☐

お願い：故障時の対応策をおとりください

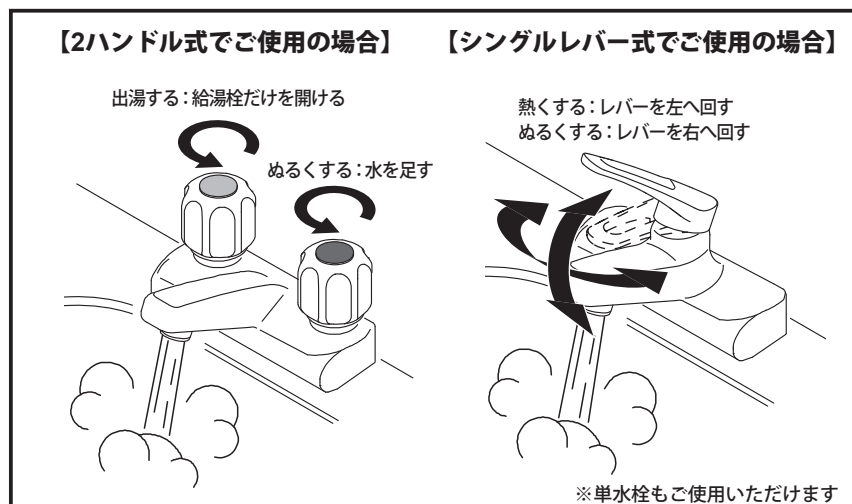
故障した場合、修理完了までの間機器は使用できません。給湯不能時の営業保証はいたしませんので「故障＝営業停止」に至るような使い方はお避けください。予備機を設置するなど運用でカバーできる体制を事前にお整えください。

2. 出湯する

- ① P.18『4. 試運転』を参照し、湯沸器に給水してください。
- ② 電源スイッチを3秒長押しして運転状態にします。(白色のランプが点灯し、しばらくすると液晶画面に設定温度が表示されます)



- ③水栓を操作して、給湯してください。
給湯中(ヒーター加熱中)は液晶画面に「Heat」が点灯表示されます。



- EIWXには通水量を検知するフローセンサーが組み込まれており、水栓を開いて流した水量を検知することでヒーターへの通電を開始し、お湯を沸かします。
- 一次側の電源をONにしたあとの1回目の運転では、毎分2.0L以上の流量で連続30秒以上の通水がされないとヒーターへの通電を行いません。
- 使用中に出湯量(流量)が毎分2.0L未満になるとヒーターへの通電がストップし、お湯になりません。他の給水による水圧変化や水栓の絞りすぎにはご注意ください。
- 本製品には水栓の閉め忘れ等による無駄なヒーター加熱の予防として、0～60分間(初期値60分)で通電を止める連続出湯制限機能が搭載されています。設定された時間(分)以上の連続出湯はできませんが、水栓を開閉することで設定された時間(分)のカウントをリセットすることができます。(設定方法はP.28) また、時間を0に設定すると連続出湯可能となります。ただし、0分に設定した場合は設定温度範囲の上限は45℃に変更されます。
- 夏場などで長期間お湯を使用しない場合や、単水栓を使用した場合で水のみをご使用したいときは運転をOFFにしてください。

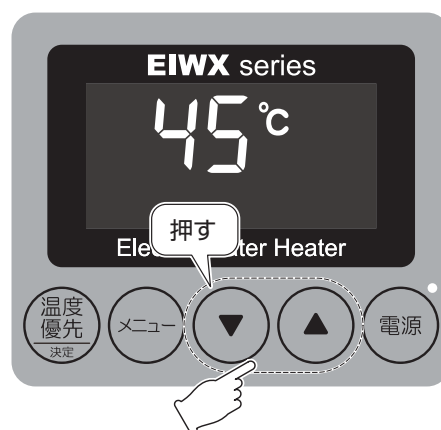
3. 各種設定方法

設定温度を変更する

設定温度は操作部のアップキーまたはダウンキーを利用して変更します。
機種ごとに定められた設定温度の範囲内で、1℃刻みで設定可能です。

アップキー：押すごとに設定温度を1℃上げます。
ダウンキー：押すごとに設定温度を1℃下げます。

※ただし、連続出湯制限機能で0分に設定した場合は設定温度範囲の上限は45℃に変更されます。



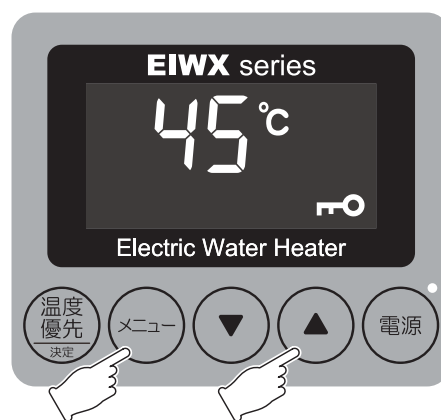
スイッチロック

いたずらや誤操作を防止するため、操作キーを全てロックさせる機能です。

- ①メニューキーとアップキーを同時に3秒間長押しします。鍵マーク表示が出て操作をロックします。

スイッチロックを解除する場合は、再度メニューキーとアップキーを同時に3秒間長押ししてください。

また、スイッチロック中にエラーが発生した場合には自動的にロックが解除されます。



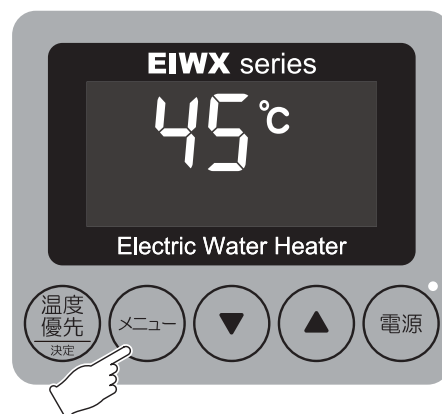
Fモード(メニューモード)

消費電力制限や、連続運転設定、バックライト輝度等各種設定を変更できる機能です。
変更する場合は下記の手順に従ってください。

- ①運転 ON時にメニューキーを押します。
- ②『F0』が点滅しますのでアップキー、ダウンキーで変更したい項目を選択します。

各モードの意味

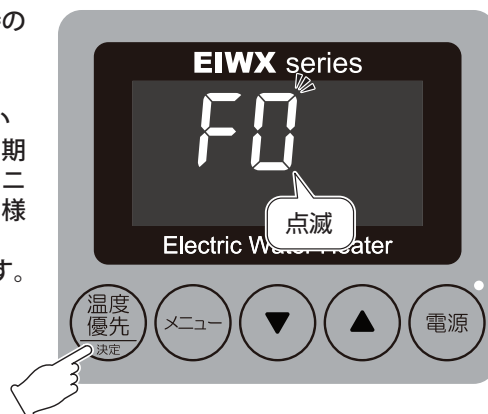
- F0: 設定値初期値に戻す
- F1: 消費電力制限設定
- F2: 連続運転制限設定
- F3: 摂氏表示／華氏表示切替
- F4: バックライト輝度設定
- F5: サーボイニシャライズ強制動作



F0(設定初期化)

現在設定されている内容を初期化して工場出荷時の状態へ戻します。

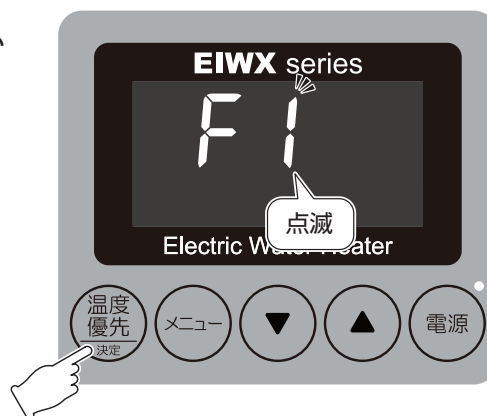
- ① F0が点滅表示状態で決定キーを押してください
- ②自動的に運転 OFF状態へ移行し、各設定値を初期化してサーボイニシャライズを行います。イニシャライズ中の表示はP.20「初期設定状態」と同様です。
- ③リセットが完了すると運転 ON状態で復帰します。



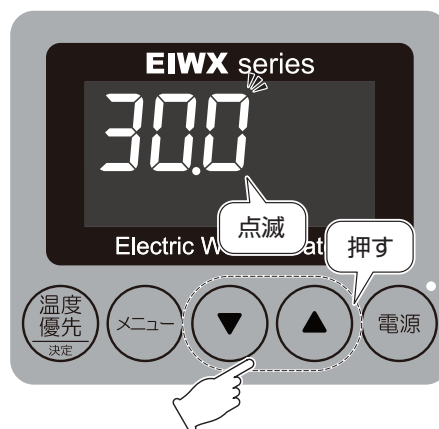
F1(消費電力制限設定)

最大出力を設定することができます。(工場出荷時は各機種の最大値に設定されています。)

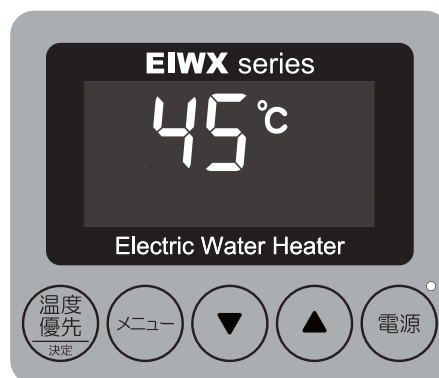
- ① F1が点滅表示状態で決定キーを押してください



- ② 現在の消費電力制限設定値が表示されます。アップキーまたはダウンキーを押して、1.0kWずつ20～30の範囲で数値を変更可能です。



- ③ 決定キーを押して確定すると通常画面に戻ります。



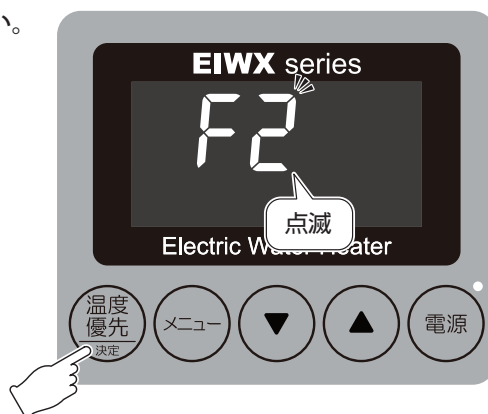
F2(連続運転制限設定)

連続出湯可能な時間を設定します。

設定範囲：0～60(分)

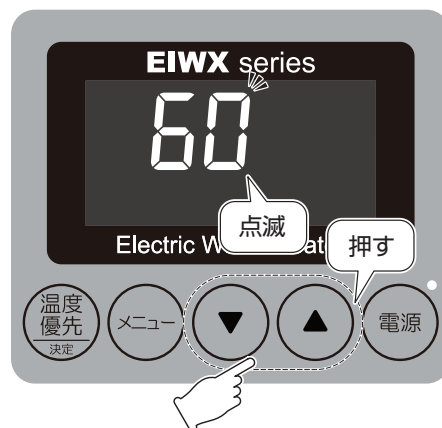
※0に設定すると連続運転を制限することなく使用できます。ただし、0に設定した場合は設定温度範囲の上限は45℃に変更されます。

- ① F2が点滅表示状態で決定キーを押してください。

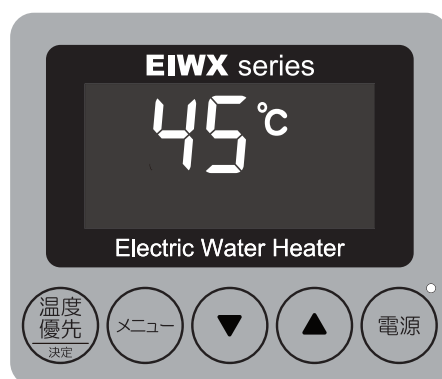


- ② 現在の連続運転制限設定値が表示されますのでアップキー／ダウンキーで希望する値に変更してください。

※設定値60の場合のみ、3分前からピッピッ…と警告音と「Heat」が点滅してお知らせします。連続60分に到達するとヒーター通電及び警告音、「Heat」の点滅が自動的に停止します。



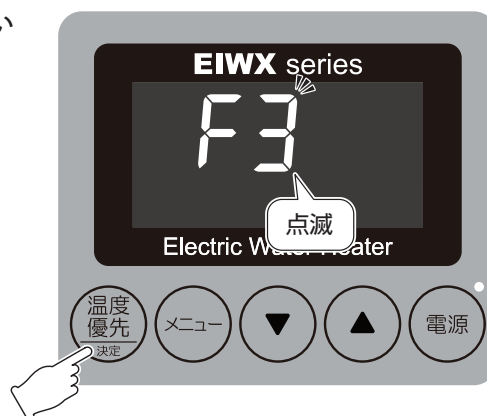
- ③ 決定キーを押して確定すると通常画面に戻ります。



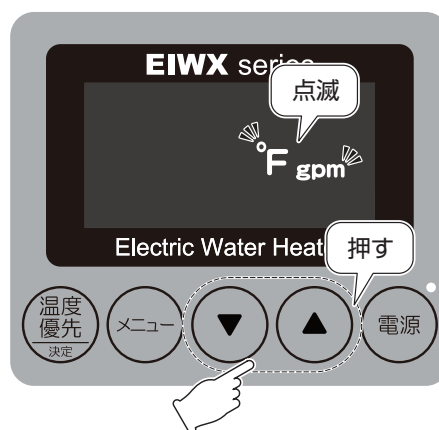
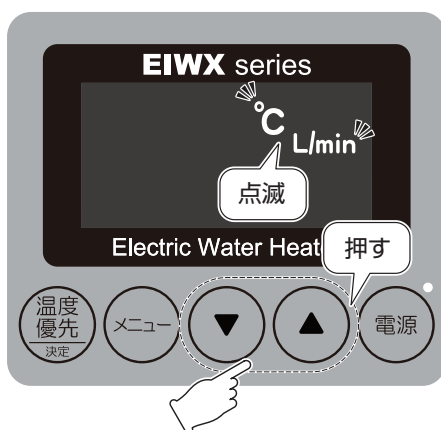
F3(摂氏表示／華氏表示切替)

温度表示・流量表示をそれぞれ「摂氏／L/min」「華氏／gpm」に切り替えます。工場出荷時は「摂氏／L/min」です。

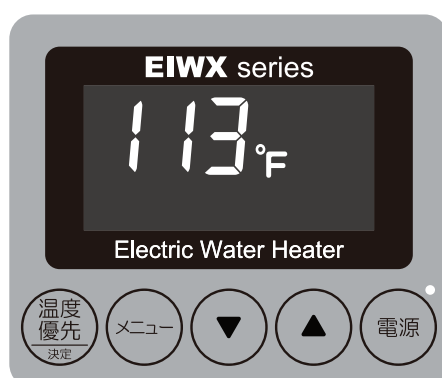
- ① F3が点滅表示状態で決定キーを押してください



- ② 現在の設定値が表示されますのでアップキー／ダウンキーで希望する表示方法に変更してください。



- ③ 決定キーを押して確定すると通常画面に戻ります。
(右図は華氏表示に切り替えた場合)

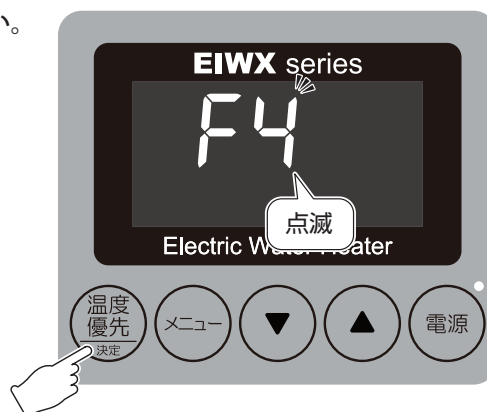


F4(バックライト輝度設定)

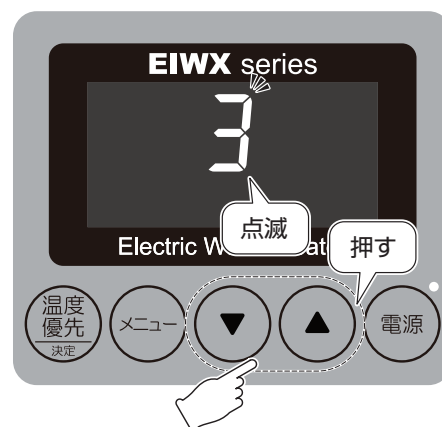
液晶画面のバックライト輝度を調整します。

設定範囲：1(暗い)～5(明るい) ※工場出荷時は「3」に設定されています。

- ① F4が点滅表示状態で決定キーを押してください。



- ②現在のバックライト輝度設定値が表示されますのでアップキー／ダウンキーで希望する値に変更してください。
- ③決定キーを押して確定すると通常画面に戻ります。

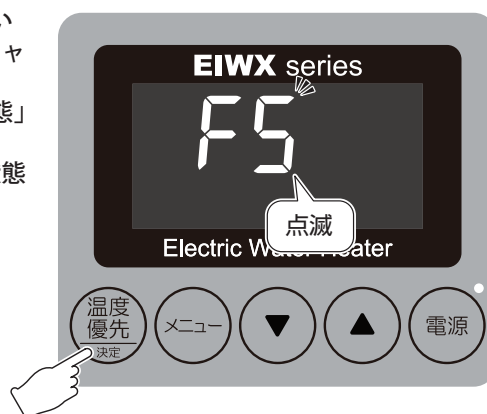


F5(サーボイニシャライズ強制動作)

水量サーボを初期化します。

※「F0」との違いはサーボイニシャライズ以外の初期設定化を行わないことです。

- ① F5が点滅表示状態で決定キーを押してください
- ②自動的に運転 OFF 状態へ移行し、サーボイニシャライズを行います。
イニシャライズ中の表示はP.21「初期設定状態」と同様です。
- ③サーボイニシャライズが完了すると運転 ON 状態で復帰します。

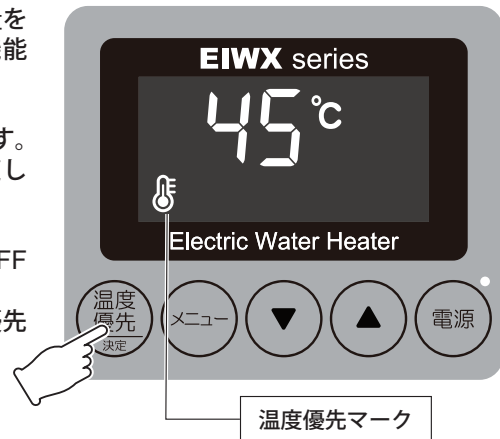


温度優先モード

設定温度に対し、加熱能力不足になった際でも流量を制限することで設定温度での出湯を可能とする機能です。

※給水温度に関わらず常に設定温度で給湯します。
流量が減っても設定温度を維持したい場合に適しています。

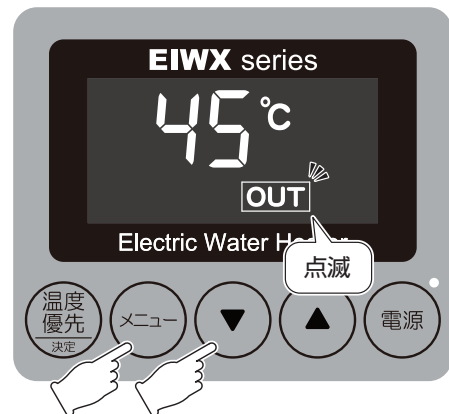
- ①温度優先モードキーを押すことで機能のON/OFFを切り替えます。
機能がONになっている場合は表示部に「温度優先マーク」が表示されます。



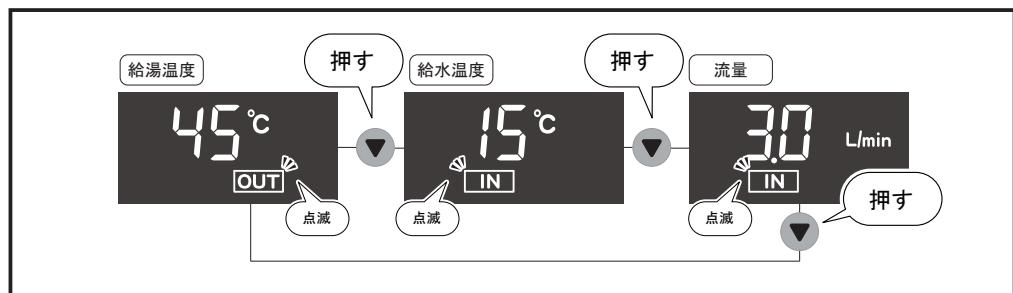
計測値を表示する

給湯温度、給水温度、流量の現在値を表示する機能です。

- ①メニューキーとダウンキーを同時に長押しします。
※電源スイッチを押す、または30秒間無操作状態が続くと通常画面に戻ります。



- ②最初に給湯温度の現在値が表示されます。ダウンキーを短く押すたびに給湯温度→給水温度→流量と切り替わります。



- ③電源スイッチを押す、または30秒間無操作で初期画面に戻ります。

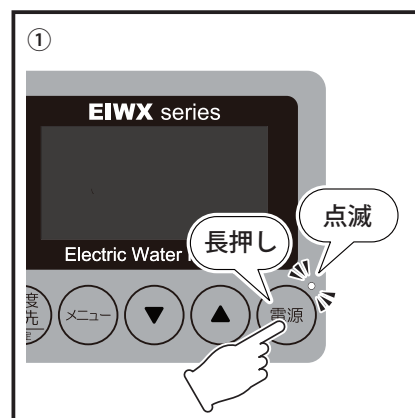
お手入れの方法

保守点検項目と実施の目安

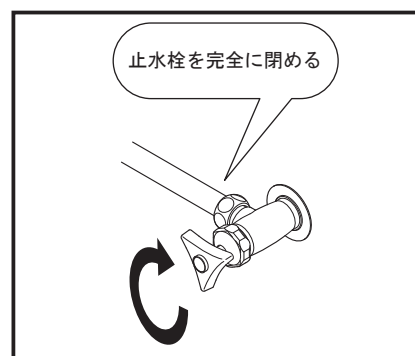
点検項目	点検内容	点検の目安
電源ケーブル	ケーブルが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないことなどの異常がないことを確認してください。	1回／月
漏水全般についての点検	湯沸器本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日

長期間使用しないときは

- ① 電源スイッチを3秒長押しして運転 OFF 状態にします。
(液晶画面が全消灯し、白色のランプが点滅します)
- ② 一次側の漏電ブレーカをOFFにします。

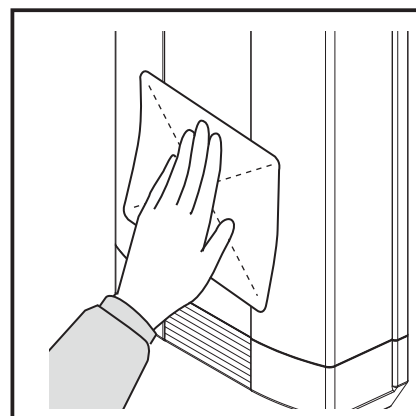


- ③ 止水栓を閉め、給水を止めてください。
※水のみでご使用を続ける場合には、止水栓を開けたままにしてください。



外装の清掃

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量にうすめた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



こんなときは

故障かな？と思ったら

湯沸器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。

状況	ご確認ください	対処方法
水もお湯も出ない または出が悪い	断水ではありませんか？	断水中は使用できませんので、断水が終了するまでお待ちください。断水が終了した後、お湯が濁っているような場合には濁りがなくなるまで出し続けてください。
	止水栓が閉まっていますか？	閉まっていたら開けてください。
	給水圧力が低すぎますか？	湯沸器が適切に運転するためには、給水圧力が0.1MPa以上が必要です。給水圧力が低い場合は管理技術者の方へご相談ください。
	配管は正しく行われていますか？	給水圧力が適切でも配管方法によって出が悪くなる場合があります。配管が正しく行われているか管理技術者の方へご相談ください。
	温度優先モードがONになっていませんか？	温度優先モードは設定した温度に合わせて流量を制限します。温度優先モードを解除してください。それでも改善されない場合はF5（サーボイニシャライズ）を行ってください。
	配管が凍結していませんか？	凍結する場所ではご使用できません。
	エラーコード（EII）が出ていませんか？	漏水の可能性があるので水量サーボで止水しています。アフターサービス窓口までご連絡ください。
お湯が出ない （水のまま、またはぬるい）	停電ではありませんか？	電気の復旧をお待ちください。
	一次側の漏電ブレーカがOFFになっていませんか？	一次側の漏電ブレーカをONにしてください。漏電や電気容量オーバーの可能性のある場合は使用せずに管理技術者の方へご相談ください。
	運転がOFFになっていませんか？	運転をONにしてください。
	電源が入った直後ではありませんか？	電源が入った直後は、すぐお湯になりません。P.18『試運転』を参照し、試運転を行ってください。
	給水圧力が低すぎますか？	湯沸器が適切に運転するためには、給水圧力が0.1MPa以上が必要です。給水圧力が低い場合は管理技術者の方へご相談ください。
	出湯量（通水量）が少なくありませんか？	湯沸器が適切に運転するための最低出湯量（通水量）は2.0L/min以上です。これ未満の場合、運転が行われません。管理技術者の方へご相談いただき、水栓、止水栓を調整してください。

状況	ご確認ください	対処方法
お湯が出ない (水のまま、またはぬるい)	電圧を間違えていませんか？	400Vの機種に200Vを入れると能力が低下し、ほとんどお湯になりません。電圧を確認してください。
	給水温度が低すぎませんか？	機器能力以上の出湯はできません。P.7『仕様』をご確認ください。
	出湯量（通水量）が多すぎませんか？	機器能力以上の出湯はできません。P.7『仕様』をご確認ください。またはP.28を参照し、温度優先モードに設定してください。温度優先モードでもお湯が出ない場合は管理技術者の方へご相談いただき、水栓、止水栓を調整してください。
	水側を開いて水が流れますか？（混合栓をご利用の場合）	水側を開いて水が流れる場合、サーボが閉動作を行っている可能性があります。 F5（サーボイニシャライズ）を行い、お湯が出ないか再度確認してください。 F5（サーボイニシャライズ）を行っても改善しない場合、水側を開いても水が流れない場合はアフターサービス窓口までご連絡ください。
	水栓が故障していませんか？	故障の場合は水栓メーカーの販売店へご相談ください。
濁ったお湯が出る	断水や水道工事の直後ではありませんか？	濁りがなくなるまで出し続けてください。
	配管が腐食していませんか？	配管のサビ等による赤水が続く場合は管理技術者の方へご相談ください。
漏水している	湯沸器本体からの漏水ですか？	止水栓を閉め、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	配管接続部からの漏水ですか？	配管接続部を締め直してください。
使いはじめに 設定温度より高い温度のお湯が出る	エラーコードが出ていませんか？	エラーコードが出ている場合には、P.35『エラーコードについて』を参照し、対処してください。 エラーコードが出ていない場合でも設置環境や配管などの影響により、繰り返し使用時に設定温度よりも高い温度で出湯する場合がありますが、故障ではありません。

これらの対処を行っても改善されない場合は、アフターサービス窓口までご相談ください。

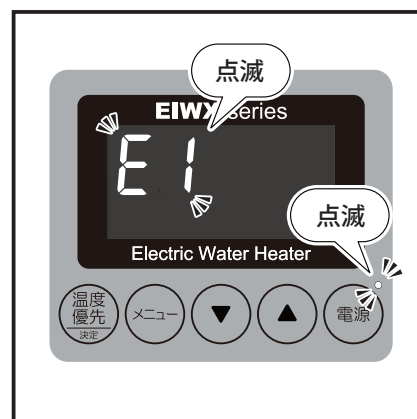
停電後の対応について

停電後の最初の運転では、毎分2.0L以上の流量で30秒以上の通水がされないとヒーターへの通電を行いません。停電後は、停電が起こったときの運転状態で復帰します。運転中に停電が起きた場合は運転 ON 状態で、運転停止中に停電が起きた場合は運転 OFF 状態で復帰します。また、設定温度やスイッチロックの機能も維持したまま復帰します。

エラーコードについて

湯沸器に異常が発生すると自動的に運転 OFF 状態となり、電源ランプ(白)が点滅し、エラーコードが点滅表示され、ブザー報知されます。(ブザーを止めるには電源スイッチを1回押してください。)下表を参照し、対処してください。対処後に電源スイッチをもう一度押すとエラー解除できます。

対処後にもエラー発報が頻発・連続する場合には、アフターサービス窓口にご連絡ください。



エラーコード	機器の状態	対処方法
E1	給水温度が高くなっています。 (45℃以上)	一次側の給水温度を確認してください。 給水温度が45℃未満になったことを確認してから電源スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度電源スイッチを押して動作を確認してください。
E2	給湯温度が高くなっています。 (75℃以上)	給湯温度を確認してください。 給湯温度が65℃未満になったことを確認してから電源スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度電源スイッチを押して動作を確認してください。
E31 E32	ヒーターが異常加熱 (パワーリレー溶着) または断線している可能性があります。	電源スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転してください。再度 E31/E32が出るようでしたら、製品故障またはヒーターが断線の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E0 E4	給水給湯サーミスタの故障の可能性があります。	部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタの故障の可能性があります。	部品交換が必要な可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E6	機器内部の圧力が異常上昇しています。	製品故障の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	機器の状態	対処方法
E71 IN E72 IN E73 IN	ヒーターが異常加熱（トライアック故障）している可能性があります。	電源スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転してください。再度 E71/E72/E73が出るようでしたら、製品故障の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E71 OUT E72 OUT E73 OUT	ヒーターが加熱できない（トライアック故障）またはパワーリレーが動作不良の可能性があります。	電源スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度運転してください。再度 E71/E72/E73が出るようでしたら、製品故障の可能性がありますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E8	電圧を間違えている、またはヒーターが断線、またはパワーリレーが動作不良の可能性があります。	400Vの機種に200Vを入れている可能性がありますので電圧を確認してください。ヒーターが断線している、またはパワーリレーが動作不良の場合は、部品交換が必要になりますのでアフターサービス窓口にご連絡ください。
E10	流量を調整する水量サーボの故障の可能性があります。	電源スイッチを1回押してブザーを止め、もう一度電源スイッチを押してください。自動的にサーボイニシャライズ動作が始まり、自動調整を行います。調整がうまくいけば復旧できます。うまくいかない場合は、再度同じエラーが発報します。その場合は水量サーボの故障が考えられますので、アフターサービス窓口にご連絡ください。
E11	製品内部で漏水している可能性があります	止水栓を閉めてください。製品故障の可能性がありますので、アフターサービス窓口にご相談ください。
E12	温度ヒューズが作動している可能性があります	製品故障の可能性がありますので、アフターサービス窓口にご相談ください。
EE Eー	機器のプログラムエラーの可能性があります。	一次側の電源をOFFにして、再度ONにしたあと電源スイッチを押してエラーをリセットし、もう一度電源スイッチを押して動作を確認してください。

その他の表示について

上記のエラーコード以外にランプが点滅している等、通常運転状態とは異なる表示が出ている場合にはアフターサービス窓口にご連絡ください。

アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は故障時に交換が可能な消耗部品です。劣化による動作不良などが起きた際に、弊社アフターサービススタッフにて交換を推奨している部品となります。
(機器内部は精密となっており、お客様ご自身での交換はできません。)

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
水量サーボ	設置日より 5年～	長期間で使用いただくことにより、経年劣化やスケール [*] による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。
減圧弁		
安全弁		
ヒーター(水管)		
正面ケース	-	※水道水中のミネラル分が固着したものです。
操作液晶部		

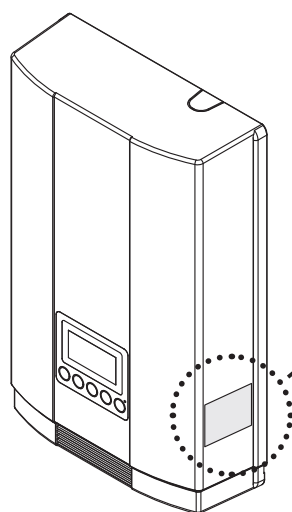
※上記以外でもパッキン類や電気部品の交換が必要になる場合や、水管などの樹脂成形部品がウォーターハンマーなどの外的要因によって破損した場合は水管ユニットだけでなく上記部品の交換が必要になることがあります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.38の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)



右側面

<保証票>

保証票		電気瞬間湯沸器	
型番	E1WXG300A1	電源	三相 400V
最高使用圧力	1.0 MPa	周波数	50/60Hz
伝熱面積	1.5 m ²	消費電力	30.0kW
満水質量	約 8.0 kg	屋内	IPX4
使用水圧	0.1 - 0.75 MPa	  株式会社日本イトミック 環境システム	
製造年月	XXXX年XX月		
保証期間	納入後3年間		
製造番号 123456789-123		123456	
株式会社日本イトミック			
アフターサービス・お問い合わせ TEL 0570-011039			

アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日(営業時間:8:45～17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03(3621)2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット

〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉 03-3621-2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。以下の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。(裏表紙に記載)

故障状況シート

貴 社 名		ご担当者名	
ご 住 所			
T E L		F A X	
製 品 型 番	EIWX		
電源、電力	三相 400V30.0kW	製 造 番 号	
設 置 場 所		保 証 期 限	
状 態			

MEMO

MEMO

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - （1）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - （2）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - （3）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - （4）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - （5）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - （6）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - （7）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - （8）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - （9）電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
 - （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
 - （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございす。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧ください。か、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 TEL : 03 (3621) 2121 (代)
FAX : 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

市内通話料でOK
ナビダイヤル® **0570-011039**

【ナビダイヤルに関するご注意】

- ※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
- ※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間を置いて再度おかけ直しください。
- ※PHS、IP電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ TEL : 03 (3621) 2161
FAX : 03 (3621) 2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。

また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 TEL : 03 (3621) 2760
FAX : 03 (3621) 2160

《担当エリアと営業所》

北海道地区 TEL : 011 (615) 6681
北海道営業所 FAX : 011 (615) 7004
〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)
担当エリア：北海道地区全域

東北地区 TEL : 022 (357) 0848
東北営業所 FAX : 022 (357) 0847
〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 TEL : 03 (3621) 2121
(株)日本イトミック 本社 FAX : 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

中部・北陸地区 TEL : 052 (222) 2561
中部営業所 FAX : 052 (222) 2559
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 TEL : 06 (7177) 4949
関西営業所 FAX : 06 (7177) 4948
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 TEL : 082 (240) 1361
中国営業所 FAX : 082 (240) 1363
〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 TEL : 092 (481) 3911
九州営業所 FAX : 092 (481) 3930
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。